

## 平成31年4月 議会報告会での要望及び意見に対する回答

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
1	古江	企業誘致にもっとサポートを(漁業用地の規制緩和をしてほしい)	現在、国や県との折衝を重ねながら、漁港施設用地が有効的に利用できるように努めているところであり、本年9月頃までには方向性を示せると思います。	水産農林課
2	古江	海洋深層水事業の検証をすべきではないか。	みえ尾鷲海洋深層水事業につきましては、アクアステーションの運営を単独で精査した場合、事業本体の収支収益はまなならぬ状況で推移しております。一方で、平成18年の取水開始以来、企業誘致に向けた取り組みや新商品の開発をはじめ、既存商品の高付加価値化など、地域産業の発展・振興に寄与してきたと考えております。今後は、さらに海洋深層水をご活用いただくべく、PR、営業活動を推進し、安定的な収益増につながるよう事業を推進してまいります。	商工観光課
3	古江	アクアステーション中庭の床のヒノキが腐っていて、イベント参加者が怪我をしないか心配。	アクアステーションのウッドデッキにつきましては、根太の部分が腐食し、一部破損しているところがあります。現在、特に危険である部分は職員が修繕を行い対応しております。今後は、安全で安心してご利用いただける施設の管理を実施するため、必要部分の修繕などを適切に実施してまいります。	商工観光課
4	九鬼	元九鬼中のグラウンドの水はけが悪く4～5日使えない。砂を入れて欲しい。	元九鬼中学校グラウンドの水はけが悪い状況については当課も承知しており、改善方法について専門業者とも相談しているところですが、状況からすると土入れだけではあまり効果が見込めないとのことで、現時点では有効な手立てが見込めていませんが、引き続き何らかの改善方法がないか検討してまいります。しばらくご不便をおかけいたしますが、当分の間、このままご利用くださいますようお願いいたします。	市民サービス課
5	九鬼	元九鬼中のトイレも使えるようにしてほしい。	元九鬼中学校につきましては、平成25年の廃校に伴い普通財産に移管されておりますが、その後の利用計画等が無いことから、これまで設備の維持修繕を行っていない状態にあり、また今後も維持修繕を実施する予定がないため、現在のところ市民の方にトイレを使用していただくのは困難であると考えています。	財政課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
6	九鬼	公衆トイレの計画はどうなったのか。	公衆トイレの計画につきましては、非常に厳しい市の財政状況において、有利な補助事業や充当する起債が無く、一般財源を持ち出すことになることから、現状では本計画を立てることは非常に難しい状況であることをご理解いただきたいと思います。	商工観光課
7	九鬼	津波避難タワーの計画はないのか。	津波避難タワーを建設する計画は现阶段ではございません。津波からの避難に関しては、住民主導による避難体制の確立を進めております。	防災危機管理課
8	曾根	郷土資料室を市に移管して管理運営できないか。	曾根郷土資料館については、平成9年より曾根地区において、曾根遺跡から出土した石器や土器をはじめ、明治・大正・昭和の民具など貴重な品々が展示されていると認識しております。市としては、教育委員会学芸員において、事あるごとに曾根地区の皆さんと文化財関係での交流がされてきており、今後も、曾根郷土資料館における学術的な問い合わせや相談訪問の予約があった際など、学芸員等による説明などの専門的な支援は可能であると考えております。	生涯学習課
9	曾根	賀田港の採石の積み方は正しいのか。	賀田港に積まれた採石は、港湾から積み出しを行うための一時保管施設である野積場にたい積されているものであり、その許可基準等に照らし問題が無いことを港湾管理者である県へ確認しました。	建設課 (県土整備部)
10	向井	向井小学校の新入学は2人。矢浜と統合しても少ない。スクールバスを使って1校にすればいいのではないか。	少子化が進む中、今後の本市の児童・生徒数の推移等を考慮し、本市全体の「学校の配置計画」を新たに検討していく必要があると考えています。	教育総務課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
11	須賀利	療養病棟を具体的にどのようにするのか。	尾鷲総合病院では、急性期治療を受けて症状が安定した患者さんが安心して自宅や施設に戻れるよう支援するために、7階療養病棟を転換し、4月1日から地域包括ケア病棟を開設しました。	尾鷲総合病院
12	須賀利	(安定期に入っても)慣れるまで2カ月くらい(病院に)おいてほしい。施設に移るとき1人暮らしの人は探すことができない。市は支援してくれるのか。	急性期治療が終わり、症状が安定した患者さんについては、地域包括ケア病棟に入院していただきます。この病棟では入院期間は原則60日間ですが、状態に応じて調整します。また、患者さんごとの「在宅復帰支援計画」に基づいて、医師、看護師、介護福祉士、リハビリスタッフが復帰に向けた支援を行うとともに、退院に向けては、看護師や医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなどと連携して介護サービスの利用や施設への入所などを支援しています。	尾鷲総合病院
13	三木浦	小学校が統合となりバスで通っているが、雨の日の停留所に屋根がない。	停留所につきましては、地区の方々のご協力もあり、雨の日は民間事業者さまの施設の一部を使用させていただくこととなりました。	教育総務課
14	三木浦	三木浦は簡易水道。夏になればお湯がでる。渇水期に大雨が降ると茶色の水が出る。	夏になればお湯がでることにつきましては、地上に露出した水道管や自宅周りの給水管が気温などで温められることが考えられます。水道管につきましては、取替工事時に埋設を進めておりますが、埋設が不可能な箇所については、区長とも相談の上で保温保冷効果のある工法により順次対応を行っております。 茶色の水が出ることにつきましては、配管工事による断水後や消防活動等による一度に大きな水圧がかかることで水道管に蓄積された濁りが流水したことによるかと考えております。渇水期に限らず大雨の際には職員による施設の巡視や点検を行い、濁りがある場合は可能な限り取水を止めるなどの対応をとり濁りが出ないようにしております。各地区には水質を毎日確認してくださる委託者がおり、水質に異常があれば随時連絡が入る体制をとっております。また万が一の濁り水への対応として、定期的に排泥作業を行っているところです。	水道部
15	三木浦	三木小を利用するには申請がいるのか。	学校施設の使用においては、最初に使用する団体の登録を行い、その後、使用申請書を提出し、事前に許可を得るのが原則となっております。ただし、実際の運用にあたっては、利便性等も考慮した上で、場合によりまして、運用調整を図る必要があると考えております。	教育総務課 生涯学習課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
16	老人クラブ	古江地区の防災資機材(コミュニティセンター保管)を高台へ移転してほしい。	古江地区役員の方と相談しながら、進めさせていただきたいと思います。	防災危機管理課
17	老人クラブ	港町、中井町に側溝整備をしてもらったが生活排水も入るので蚊が増えて困っている。	道路側溝や道路埋設管に浄化槽などを通さずに生活排水を直接放流されたりしますと、堆積物となり排水が滞り、臭いや蚊が発生する要因となると考えられます。また季節的に雨量も少なく押し流されないことも影響していると考えられ、抜本的な対策は困難ではありますが、道路側溝に土砂が溜まるなどしている場合には必要に応じて、清掃を実施致しますのでご希望の場合は各地区の自治会長又は、区長を通じ建設課までお知らせ下さい。	建設課
18	老人クラブ	リニアックはどうなっているのか。	リニアックについては更新費用が約3億4千万円必要であり、更新を計画しておりますが、現時点では厳しい市の財政状況から、見通しが立っておりません。今後も、引き続き市全体の財政状況や、病院の内部留保資金の状況を踏まえて、更新時期について検討してまいります。	尾鷲総合病院
19	中央公民館	ごみ処理施設を発電所内に造るのは、南海トラフを考えると最適ではないと思う。住民投票をして市民の是非を問うてほしい。	発電所構内において、ごみ処理施設の焼却時に発生する熱エネルギーを有効活用し、新たな産業の創出や雇用の拡大が期待できることから、広域ごみ処理施設の建設予定地として検討を進めております。また、地震・津波対策につきましては、一部事務組合設立準備会において具体的に検討していきますが、地震対策としての耐震施設、そして、津波浸水域を越える場所に設置すべく計画を推進しております。今後、情報提供を図りながら進めさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。	環境課
20	中央公民館	浸水を防御する方法を考えてほしい。ごみ処理施設を発電所内に建設した場合、被災した時にごみを運んでいけるのか。	地震・津波対策につきましては、一部事務組合設立準備会において、中部電力の既存施設を利用した浸水対策が可能かどうかなども含め、具体的に検討していきます。なお、被災時の搬入導路の確保につきましては、県道中井浦九鬼線ということもありますが、優先的に啓開作業するなど対応しなければならないと考えています。	環境課

	要望箇所	意見の要約	各課の回答	担当課
21	PTA連合会	熊野、松阪、串本など各地に芝生のサッカーグラウンドが増えている。JFA(日本サッカー協会)のグリーンプロジェクトで芝生を無償提供している。火力跡地に整備して欲しい。芝生があれば子ども、大人、高齢者も利用できコミュニティができる。	中部電力尾鷲三田火力発電所跡地の活用につきましては、尾鷲市、尾鷲商工会議所、中部電力の三者からなる「おわせSEAモデル協議会」において、「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、活気あるれる「ふるさと尾鷲」を目指し、鋭意検討を進めているところであります。現在、本年3月に作成しました「おわせSEAモデル グランドデザイン」に基づく各施策イメージのもと、事業の可能性について検討部会で協議を進めているところであります。ご提案いただきました芝生サッカー場、芝生の憩いの場についても、教育・スポーツ振興ということを踏まえながら、あらゆる検討を重ねてまいります。	政策調整課 生涯学習課
22	PTA連合会	尾鷲幼稚園の3年保育を実施して欲しい。H24年から毎年要望している。少子化で3年保育を求める意見は多い。	今年度10月より、幼児教育・保育の無償化がスタートすることに伴い、本市の幼稚園、保育所の保育料も無償化となります。今後の本市の園児数の推移等も鑑み、国の動向も注視しながら本市における幼稚園の在り方を検討していく必要があると考えています。	教育総務課
23	PTA連合会	輪内3小学校は統合され、三木浦、三木里の児童はバス通学となったが、待合場所や乗降場所の安全面に課題がある。	子供たちが安全に安心してバス通学できるよう、今年度より保護者や地区の代表、学校、バス運行管理業務受託事業者、教育委員会で組織する「尾鷲市スクールバス運営協議会」を設置いたしました。待合、乗降場所などを含め協議・検討していく予定です。	教育総務課
24	PTA連合会	尾鷲中の給食の実施予定は。	本市の財政状況も見据え、各小中学校における給食施設の建設年度や、児童生徒の推移なども考慮した上で、センター方式での整備も視野に入れながら、尾鷲中学校の給食実施を検討していきたいと考えています。	教育総務課